



HAPPY NEW YEAR



兎年の本年。

現状に満足せず、日々挑戦の一年。

■令和5年も

よろしく申し上げます

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。令和4年は1月の美濃加茂市長選挙から始まり、多くの支援者の皆さんのお力で支えていただいた一年となりました。市長としては、市政、市役所の現状を正確に把握するため、多くの職員や関係者との会議や意見交換の機会を多く設けました。その中で、行政側が意図することと市民の方々が感じていることに乖離があることもいくつかありました。新年には、もっと多くの市民の皆さんの声をいただいて取り組みます。美濃加茂市として場当たりの政策や対応ではなく、将来の目指す方向性をしっかりと見据えながら本質的な課題解決に取り組む政策の実現を目指していきたくと考えています。例えば、多くの皆さんに関心を持っていただいている新庁舎建設の課題。ただ新庁舎を立てることだけに焦点を当てるのではなく、

「美濃加茂市の未来はどうあるべきか」ということを明確に示すことで「新庁舎がどのような役割を果たすのか」「新庁舎以外の方法で解決策する課題は何なのか」など、具体的な議論を重ねる必要があります。何となく誰かが決めてしまったという事実ではなく、将来の世代が納得できるような経過を残していかなければならないと考えています。



社会が大きく変化し、国際情勢やコロナの影響による先行きが見えない中ではありますが、「美濃加茂市はどうあるべきか」という視点を常に市民の皆さんと共有し、一つ一つの政策を実現したいと思います。

昨年以上に、皆さんから多くの声をいただきたいと願っております。よろしくお願いたします。

■三男が誕生しました

12月24日、三男、弥来（みらい）が誕生し、3児の父親となりました。私自身は特別職のため、育児休暇や育児休業という制度や休みの取り方はありません。しかし



、家庭での役割を果たすため、また、美濃加茂市役所、市民の皆さんや市内企業において“出産、育児”についての理解が広まることを期待し、出産日と翌日はお休みをいただきました。

前回の私の市長任期の時（平成29年）に“イクボス宣言”を行ないました。イクボス宣言とは、「職場でともに働く部下のワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）として、上司自らが宣言する」ことです。そして、まだまだ男性の育児休業の取得率が低いことを改善するため、“育児・介護休業法”が改正されたことにより10月1日から新たに“産後パパ育休”（出生時育児休業）や“育児休業の分割取得”等が制度として取得できるようになる等、支援は増えてきています。しかしながらまだ認知度の低いこれらの制度を多くの人に知っていただくために、“シン・イクボス宣言”を行いました。



テレビや新聞はじめ、多くのメディアにも取り上げていただくことができました。これからも出産や育児に関する制度の広報を積極的に行い、理解を広めていきたいと思っています。取得が難しい現実もありますが、様々なライフスタイルを選択できるよう、制度改革や社会の仕組みづくりにも挑戦していきます。

■様々な企画に挑戦します！

1年間、こちらの“TIMES”は毎月配信、YouTubeの動画は毎週のように配信させていただきました。市役所を通じてのメッセージだけではなく、藤井浩人として私の思いを今年もしっかりとお伝えさせていただくと同時に、その内容についても拘っていきたくて考えています。皆さんとの意見交換の機会も多く作っていきますので、ぜひ、日頃の生活の中で、もっと改善できることや、一人ひとりが取り組むことで世の中が良くなることなど考えていただき、届けていただけたらと願います。

例えば、動画配信については、私の一方的なトークだけではなく、市内外のゲストとの対談や美濃加茂市の特徴や歴史を取り上げるなど、皆さんと多くのことを共有で



きるような番組づくりにも挑戦したいと思っています。

■地域課題に向き合う一年に

この正月三が日も神社などにお邪魔し、地域の皆さんにご挨拶をすることができました。3年ぶりの行事も多く開催されるとのこと。お話を伺えば、改めて地域での活動の重要性、大きな負担について様々なお話を伺う機会となりました。

インターネット社会が進むにつれて一人でできてしまうことが多くなっています。また、地域の協力がなくても民間サービスさえあれば何かと済んでしまう時代です。しかしながら、隣近所の人たちと共に生活することは、便利さの追求だけではなく、都市部ではない美濃加茂市のような地域で生活する意味の一つだと思っています。

特に、地域には世代も価値観も異なる人々が住んでおり、社会の縮図といえましょう。だからこそ、挨拶や意見を交わし、共同で物事に取り組むことが社会体験となり、何より子どもたちの将来にとって大きな経験になるのではないかと考えています。



本年は私自身も一人の住民として積極的に地域活動に参加しながら、自治会や地域を

支える諸団体や活動を時代にあったものに変えていけるよう精進したいと思います。

兎年の本年。現状に決して満足せず、多くのことに積極的に挑戦していきます。

本年もよろしくお願いいたします。

藤井浩人

